祝 第38回全国中学校相撲選手権大会出場 第36回九州中学校相撲競技大会出場

桂川中学校3年生　吉木 優友(ゆうすけ)くん

8月23日・24日の日程で石川県七尾(ななお)市で開催された第38回全国中学校相撲選手権大会へ、桂川中学校3年生の吉木優友くんが出場しました。また、全国大会に先立ち8月8日・9日に沖縄県名護(なご)市で開催された第36回九州中学校相撲競技大会では、予選3戦全勝と順当に白星を重ね、決勝トーナメント1回戦で惜しくも敗れはしましたがベスト16に入りました。

全国大会を前に、8月18日、校長先生、相撲顧問の先生とともに井上町長を表敬訪問しました。幼い頃から他の子よりも一回りも二回りも大きかったという恵まれた体格（現在身長187㎝・体重は144kg）には、既に角界(かっかい)が注目しており、いくつかの相撲部屋からは、声もかかっているそうです。しかし吉木くんは「相撲は好きですが、まだまだ勉強もしたいと思います。」とのこと。井上町長からは「桂川中学校から全国大会出場者が出るのは久しぶりの事で、町にとっても大変明るいニュースで、うれしく思います。めったにない機会ですので、日頃の練習の成果を発揮して、全国大会では頑張ってきてください。また、今後も益々(ますます)活躍して、桂川町の名を広く全国にアピールしてもらえたらと期待しています。」と町を上げての応援の言葉を述べられました。

全国大会では、決勝トーナメントで敗退し、惜しくも入賞にはいたりませんでしたが、いつの日か「〝魁皇(かいおう)〟につづく郷土力士誕生！」などと、将来がとても楽しみな好青年でした。

▲ 第38回全国中学校相撲選手権大会での活躍を期待する井上町長と「全国大会で活躍して、桂川町の名を有名にします。」と大きな手で固く握手をする吉木くん。

相撲決まり手

寄り切り

四つ身になって自分の体を相手に密着させ、前か横に進みながら土俵外に出すこと。